

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護の基本Ⅱ Fundamentals of care Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉士養成課程の学生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
高齢者・障害者福祉関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護福祉士養成課程指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
山田 昇	講義棟2F	火・水・木9:00～16:00 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
「介護の質」を向上させるためには「尊厳を支える介護」や「自立支援に向けた介護」が不可欠であり、介護実践現場で展開されなければならない。介護の基本的要件である。可能な限り介護の実践事例をあげながら、利用者の立場で考えられる姿勢を身につける。				
授業の目標				
①QOLの意味を理解し、その人らしい生活支援の重要性を説明できるようにする。 ②利用者の立場でエンパワメント・個別ケアについて説明できるようにする。 ③居宅・施設介護を問わず、ノーマライゼーションの具現化を説明できるようにする。				
授業の方法				
講義を中心に「介護」と「利用者主体」について重点的に行う。				
学習の成果 (学習成果)				
①人間を相手にする介護の営みの特徴を認識し、説明することができる。 ②介護者と利用者との対等な関係の必要性を理解し、説明することができる。 ③利用者の自己決定と、生活意欲への関わりを理解し、説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (授業の進め方、留意事項、成績評価等) 介護の特性と対象者支援の基本的理念について			
第2回目	尊厳を支える介護① QOLの理解について			
第3回目	尊厳を支える介護② ノーマライゼーション思想と介護について			
第4回目	尊厳を支える介護③ 自己決定と介護について			
第5回目	尊厳を支える介護④ 利用者主体の考え方について～その1～			
第6回目	尊厳を支える介護⑤ 利用者主体の考え方について～その2～			

第7回目	自立に向けた介護① 自立支援・自己決定・自己選択について～その1～ レポート作成「利用者の支援と尊厳の尊重について」※提出は第8回目の授業日とする。		
第8回目	自立に向けた介護② 自立支援・自己決定・自己選択について～その2～		
第9回目	自立に向けた介護③ 自立支援・自己決定・自己選択について～その3～		
第10回目	自立に向けた介護④ 生活意欲への働きかけ・エンパワメント～その1～		
第11回目	自立に向けた介護⑤ 生活意欲への働きかけ・エンパワメント～その2～		
第12回目	自立に向けた介護⑥ 個別ケアの在り方～その1～		
第13回目	自立に向けた介護⑦ 個別ケアの在り方～その2～		
第14回目	介護福祉士業務と医療行為及びチームアプローチについて		
第15回目	自立支援と介護の営み 授業のまとめ		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		20%	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。
レポート		10%	第1回～第6回までの授業内容に関するレポート作成とする。最高評価であるSは意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿って、学習の成果が十分に示されている。
調査報告書			
小テスト			
試験		70%	論述、記述式の定期試験を行い評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。
発表内容 (態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
教科書:「介護の基本Ⅰ・Ⅱ」介護福祉士養成講座・中央法規 「福祉実践をサポートする介護概論」保育出版社 参考書・参考資料:授業の都度指示、資料を配布する			
履修上の留意点・ルール			
高齢者・障害者福祉に関する関係資料情報を収集しておくこと。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。			